

スマート農業推進の最前線

【鹿屋市における取組について ②】

事業名	施設園芸環境制御装置実証事業（令和元年度から継続）	
事業目標	・ハウス内環境の管理技術の見える化（データ化の共有）のため、環境制御装置の実証を行う。	
実証する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温湿度センサー等を搭載した環境制御装置を設置し、作物毎に適した環境制御を実証する。 ・ 管理技術の見える化・データの共有化による収益力向上と技術継承の維持。 	
事業内容	・ 作物の品質向上や単収向上を図るため、ハウス内の温度や湿度、二酸化炭素濃度など6項目を測定する「環境制御装置」を導入し、データ収集や作業管理記帳を行う。	
事業経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入費2,415,000円（市で購入、事業主体へ貸与） （内訳：環境制御装置3台） 	
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肝付吾平町農協ピーマン部会 ・ 東串良町園芸振興会きゅうり部串良支部 	
普及状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピーマン農家（3戸）で継続実証中 ・ きゅうり農家（3戸）で実証中 	
課題	・ 作物毎や施設の設置場所毎のデータに基づく環境制御技術の確立。	
今後の取組（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数年間のデータを蓄積することにより、作物の生育に適した環境条件を「見える化」することで、栽培管理能力や作業効率の向上をはじめ、数値化された栽培技術を基に地域の栽培管理技術の高位平準化を図る。 	
写真	 <p style="text-align: center;">ハウス内センサー設置状況</p>	 <p style="text-align: center;">制御盤</p>